

## 観光社会資本の事例

テーマ	漁業と観光の融合～ひらかれたにぎわいのある漁港～	
【施設の状況写真】		
		
<p>漁港内に新設された休憩施設</p>	<p>マグロの水揚げの様子</p>	
<p>関西唯一の遠洋漁業の根拠地である勝浦漁港は、マグロ延縄漁法による生鮮マグロの水揚げ日本一を誇ります。また、年間270万人の観光客が当地を訪れ、温泉旅館へ向かう宿泊客の大半が当港を利用されます。</p>		
【施設の利用写真】		
		
<p>朝市で賑わう漁港内遊</p>	<p>休憩施設「海の湯」の内部</p>	
<p>本年1月、港を眺めることが出来る休憩施設が完成し、同時に毎週土・日曜にはマグロや地元産品の朝市「勝浦漁港にぎわい広場」が開催され、多くの人々で賑わっています。また、まぐろ祭り等のイベントや伝統行事が年間を通じ催されています。</p>		
【観光資源としての利用状況】		
<p>関西唯一の遠洋漁業の根拠地である勝浦漁港は、マグロ延縄漁法による生鮮マグロの水揚げ日本一を誇ります。また、吉野熊野国立公園内に位置し、世界遺産にも登録された熊野古道や那智の滝等の景勝地を有し、温泉の町として知られる那智勝浦町には、年間270万人の観光客が訪れ、漁港周辺に点在する温泉旅館へ向かう宿泊客のバスターミナルや送迎船、観光船の発着場として当港は利用されています。</p>		
<p>近年、マグロの陸揚げやセリの状況を見学する観光客も多く、漁港内に遊歩道を整備し、平成18年には、漁港を見渡せる休憩施設「海の湯」がオープンし、温泉情緒を醸し出すとともに、観光と漁業の接点としての活用が期待されています。</p>		

テーマ	漁業と観光の融合～ひらかれたにぎわいのある漁港～
【社会資本の基礎データ】	
名称	親水施設(遊歩道609m等)等
所在地	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町築地
事業名	勝浦漁港環境整備事業
事業主体	和歌山県
事業期間	平成9年度～平成17年度
【社会資本の役割・効果】	
<p>・バスターミナルから観光棧橋へ向かう宿泊客及び漁港周辺を散策する歩行者の安全性や快適性が向上した。</p> <p>・新たな観光資源として休憩施設の完成とともに、マグロ等の地場産品を販売する朝市が開催されるようになった。また、町民グループが遊歩道沿いに花を植える運動を始めるなど、町の活性化へむけた取り組みがなされている。</p> <p>・閉鎖的なイメージの強い漁港から脱却し、開かれた漁港として、来訪者と地元の人々や漁業関係者との交流を促進している。</p>	
【位置図】	
	
<p>【関連ホームページ】 那智勝浦町 <a href="http://www.town.nachikatsuura.wakayama.jp/">http://www.town.nachikatsuura.wakayama.jp/</a>          那智勝浦町観光協会 <a href="http://www.aikis.or.jp/nachikan/">http://www.aikis.or.jp/nachikan/</a></p>	